

JCN日野ケーブルテレビ 番組審議会議事録

開催日時

平成 24 年 2 月 14 日 (火) 16:30-18:00

場所

JCN日野ケーブルテレビ 会議室

出席者

番組審議会 : 鷹取委員、土方委員、荻原委員、金子委員、齋藤委員、

欠席 : 市川委員、谷委員、中嶋委員、宮崎社長

会社代表 : 櫻井取締役 (事務局 放送部室橋)

JCN代表 : 東京西エリア制作室清田室長

配布資料

- 1) 加入世帯数の現状と今後の営業方針
- 2) コミュニティーチャンネル「JCNプラスチャンネル」について
- 3) 多チャンネルサービスについて

本議題に入る前に、櫻井取締役より、本日のスケジュールと、退任 1 名、新任 1 名の紹介、委員欠席者 3 名が伝えられた。

出席が過半数を占めるため、審議会は成立したとの報告があった。新任の齋藤委員から自己紹介があり、お客様からの声を拾えるよう活躍したいと挨拶。

挨拶および加入世帯数の現状と今後の営業方針

欠席の社長宮崎良修代理、取締役櫻井より、ケーブルテレビ放送の発展と普及に日頃からご支援を頂いている委員の皆様へ感謝の言葉が述べられた。

まず始めに、資料 1 を元に、会社概要が説明された。

次に、JCNグループ全体として掲げている企業理念を紹介、説明。経営姿勢の 4 点が説明された。

続いて、事業概要として、現在行っている放送サービス、通信、電話、緊急地震速報など、その他、2011 年 4 月より録画機能付き STB「録りま専科 Blu-ray」が開始され、2011 年 7 月 24 日のアナログ放送終了を機に電障対応の実施が報告された。

加入世帯数の推移として、サービス対象世帯数 (ホームパス) 78,954 世帯の内、2011 年 12 月末現在、多チャンネルサービス 24,361 世帯加入で、加入率 30.9%、電波障害、共聴再送信を含めると接続率 84.5% となり、全国的なケーブルテレビに較べてもかなり高い接続率であると説明された。

インターネットにおいては、18,904 世帯加入、加入率 23.9%、電話サービスについても、13,407 世帯加入、加入率 17% と、日野市の加入率は高く、成熟したマーケットと報告された。

最後に、今後の営業方針として、

お客様満足度向上のための説明と、地域社会活性化のため、JCN日野カップ (少年軟式野球、サッカー 4 年生大会) 開催、放送。「スーパーなわとびすと選手権」では 2 月

16 日から仲田小学校のチャレンジを放送する他、東京ヴェルディとの共催、ふだん着で CO2 をへらそ

う事業の参加を行っていること、個人情報保護の徹底として、プライバシーマーク（Pマーク）取得3回更新、2年無事故で経過していることが報告された。

コミュニティーチャンネル「JCNプラスチャンネル」について

次に、取締役櫻井より資料2を元に、コミュニティーチャンネル「JCNプラスチャンネル」の今年度の概要が説明された。

現在自主放送レギュラー番組が8本、2011年4月からの新番組「HinoVoiceTV」など、それぞれの番組の内容と特徴が説明された。また、2011年4月よりハイビジョン放送を開始したことが報告された。

特別イベントとして、前年度3月の東日本大震災を受け、市内の計画停電予定を24時間放送、初めて開催した「JCN日野カップ軟式野球大会決勝戦」、7月の「高校野球西東京大会生放送」は、JCNテレメディア、JCNマイテレビ、JCN武蔵野三鷹、JCN中野を合わせ、5局連携で同時生放送を行ったこと、また放送協賛金の中から被災地3県の高校に46万円相当の練習球を贈呈したことが報告された。

その他、8月の「よさこい祭りダイジェスト」、9月の「東京光の家正秋バンドチャリティーコンサート」全編収録・放送、10月放送の「JCN日野ゴルフコンペ」、11月に初めて生中継した「第45回日野市産業まつり」、12月、毎年恒例の「もしもクイズ でんわdeゲット!!」では、第10回を記念し、放送時間を1時間から2時間に拡大、賞品数も増やし生コマーシャルも導入して放送。最後に2月12日に決勝戦があった「JCN日野カップ4年生大会（サッカー）」の放送を2月25日に控えていることが報告された。

また、JCNテレメディア、JCNマイテレビ、JCN武蔵野三鷹、JCN中野と当社の5局を「東京西エリア」と称し、5局共通で放送しているお店紹介番組、散策番組、小学生対象の大縄跳び選手権などの番組紹介、また、JCN本社で制作している3番組が紹介された。

多チャンネルサービスについて

引き続き、取締役櫻井より資料3を元に、2011年度からのチャンネルラインナップ改編が説明された。

1) 2011年4月よりCS2chHD追加され、放送サービス「デジマックス（基本CS50ch内HD27ch）」「デジエース（CS38ch内HD25ch）」に加え、

HDD付録画機STB「デジマックスHDD」「デジエースHDD」の2コースが増えた。さらに10月からはCSHD6ch追加し、提供開始した。

2) HD化拡大チャンネルは、4月からはGAORA HD、スカイ・A sports+ HD、その他NHKBS3波から2波へ改編、Twe11vが追加、

10月からはFOX HD、キッズステーションHDなど6ch追加、オプションチャンネルでは、スターチャンネル、WOWOWが全てHD化した。

3) その他の新サービスとして「録りま専科Blu-ray」、べんり機能の「JCNおすすめナビ」「ケータイde録画予約」、

auのスマートフォンとインターネットの利用料をまとめた「auスマートバリュー」を開始した。

番組審議委員より質問、番組に関するご意見、アドバイス

荻原委員より

（問）加入世帯説明の中で「電障」とあったが、いまでもそのカテゴリーはあるのか？市の施設の電障もあったので、デジタル化でかなり解消されたと聞いているが。

→（櫻井取締役）

電障エリアの方々には、アンテナを立てるか、ケーブルに入るか、各自で対応しないとテレビが見られない。電障エリアは限定ではあるが、ケーブルテレビサービスを地デジのみの安い値段で提供するエリアとしている。

(問) 今までの「電障」とは意味が違うのか？ 接続率は84.5%とっていいのか？

→ (櫻井取締役)

エリアの方が引き続き多く残っている。接続率は84.5%でよい。

(問) コミチャンのニュースの中で、あるいは日野市が依頼している「広報ひの」の番組で、過去のイベントが週末に流れることがある。流し方や工夫は出来るか？

→ (室橋)

極力、過去のは流さないようにしているが、ナレーションや音楽が通しで入っている場合は、切れない場合がある。ご了承いただきたいが、今後週末放送を更に意識し、放送制作を行いたい。

(問) 1月のお正月に日野市では賀詞交歓会を開いているが、現在の場所が良くない。

今度開所する「市民の森ふれあいホール」に場所を移動しようと思っている。

以前、九州新幹線のPVを見たが、九州がひとつになるコンセプトで、大変良かった。

日野もひとつになると、新しいふれあいホールで流す「こんな1年の日野だった」

というようなビデオを作りたいが、協力していただけるか？

→ (櫻井取締役)

素材はいくらでもあるので、可能である。

→ (清田室長)

開所式のイベントでは、「ロープジャンプ」を特番として撮影する。ご希望に添えると思う。

(問) (ふれあいホールは) いろんな人に使ってもらって活きる場所。飲食OK、調理室もあり、お酒も飲める。防音室もあるし、集会室、夜遅くまで営業する予定で、展示も出来る。

→ (清田室長)

ご協力することは出来ると思う。コミチャンの番組を見てもらいたいときに外から指を差して欲しいので、一企業に指さしは難しいかもしれないが、行政側の協力を得られれば嬉しい。

室橋より

(ふれあいホールは) プロのコンサートでの利用は出来ないのか？

→ (荻原委員)

多くの補助金をいただいて建設した。(音楽ホールではないので) プロ向けには音響的に難しい。

市内全中学校で吹奏楽部が出来たのを機に吹奏楽部音楽会などから始めたい。

櫻井取締役より

4月からコミチャンはHD化したが、余り気づかない方が多く、いかがか？

→ (鷹取委員)

気づかなかった。あまり綺麗になっていない。

→ (室橋)

自主制作番組は全てHD撮影だが、TVショッピングはアナログ素材。

(問) (産業まつりでは) 新しく生中継をやったが見ていただけか？

→ (鷹取委員)

市民に知れ渡っているお祭り、浸透していると視聴率も上がると思う。ほか

の行事も知れ渡れば相乗効果が期待できる。さくらまつりやスプリング

フェスタなどイベントとマッチさせると良い。

→ (土方委員)

駅近くの道路が開通すれば、旧甲州街道(都道)を全面通行止めに出来、

新選組まつりでもパレードが出来る。

→ (鷹取委員)

いろんな行事を取り上げれば自分が映っているとテレビをつける。

→ (土方委員)

この前、「ちい散歩」を撮影していたが(万願寺～甲州街道駅)、映像支援隊からポイントを説明してほしいと言われた。事前にわかっていたらもっと日野をアピールできた。

(問) 防災無線が聞きにくい、聞き取りにくいというモニターの意見があった。他地域でもそのような問題がある。コミチャンのデータ放送に反映できたらいいと防災安全課とやっていきたいが、いかがか？

→ (荻原委員)

聞き取りにくいという点では、当座、電話で聞けるサービスを始めた。番組にたどり着く習慣作りが必要。電話はみな持っているが、ケーブルテレビは全員というわけではないから下地を作らないと。行政からの情報をどう出すか、今確立するチャンス。情報の大切さを実感する時。

→ (櫻井)

防災情報＝ケーブルテレビの習慣が出来たらいい。「あんしん」「べんり」「きちんと流す」。防犯(振り込め詐欺など)のことも重要視しており、現在警察、消防も早めに視聴者に情報を届けることを意識している。

→ (鷹取委員)

防災無線の音は聞こえるけれど、中身はわからない。こういうときテレビを見たら？ といえればいい。110番にかけるときは#9110にというように促すのは良いが、ところが#9110にかけたら全然繋がらず、大変混み合っていた。振り込め詐欺の電話が入っていたので、その時同時に#9110にかけたが繋がらず、17:00でサービスが終了してしまい連絡できなかった。

(問) 1つのツールではなく、いろいろなものを重ね合わせて、情報伝達すべきということですか？

→ (荻原委員)

1つのツールで100%網羅する方が怖い。災害時におけるケーブルテレビの役割を確立したら見てくださいと言える。東京都は平成24年度防災の見直しを行い、情報受発信をはっきりさせる予定なので動きやすくなる。

→ (鷹取委員)

携帯で計画停電や不審者情報が入ってくるようになった。高齢者の人はテレビをつける習慣をつけたらいい。

→ (荻原委員)

いま子どもたちはテレビを見ない。ゲームばかり。一家団欒でテレビを見る状況がない。何かあったらテレビを付ければと言えるようにしたい。が、情報発信のタイムラグが問題になってくる。つけたは良いがいま映っていないのは良くない。

→ (鷹取委員)

25日の土曜日に「携帯を知る」講習会を行う。携帯電話は被害者にもなり加害者にもなる。プロフやなりすましメールなど、親が実態を知らないため、

親向けに講習会を行う。

→ (荻原委員)

市政50年ビジョンの予定がある。大きな祭り団体に、1年祭りを休んでもらい、2013年それを全て集約してみんなでひとつで大きなことが出来ないか提案している。次の50年は誰もいないから、是非協力して欲しいとお願いしている。

(まとめ 櫻井) 今後もより良い番組作りが出来ればと思っている。是非ご意見を聞かせていただければ嬉しく思う。

以上